

1 基本情報

事業名称	子育て世代等外国人支援事業				
事業目的	外国人家庭への支援には「言葉の壁」が常につきまとうことが大きな課題である。特に保健師など専門職が支援の中で扱う言葉は特殊であり、会話の内容も込み入ったセンシティブな内容が多いことから、多言語に対応できる対人通訳ツールを導入することで、情報が届きにくい子育て世代の外国人に対し、通訳や翻訳を介してコミュニケーションを円滑にし、情報の提供や支援の質を高める。また、子育てや健康増進に関する資料などを多言語に翻訳することで、誰一人取り残さない、個に寄り添ったサービスを提供する。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> 外国人家庭への適切な子育て支援を行うため、タブレットによるテレビ電話などを用いた多言語に対応できる対人通訳ツールを導入する。 外国人家庭への適切な支援を行うため、子育てや健康増進に関する資料を多言語に翻訳する。 				
実施主体	南保健センター	実施場所	南保健センター・南区内	実施時期	通年

2 設定指標

活動指標	外国人妊婦面接の全数実施		R4	R5	R6	R7
		目標	100%	100%	100%	100%
		実績	100%	100%	100%	100%
成果指標	乳幼児健康診査問診票「保健センター保健師に相談できることを知っている」外国人割合		R4	R5	R6	R7
		目標	100%	100%	100%	100%
		実績	91%	93%	89%	95%

3 事業評価

決算額 441,720 円

①妥当性	◎	②費用対効果	○	⑤総合評価	○	評価基準
南区の妊娠届出のうち約1割が外国人妊婦である。テレビ電話通訳により、双方の意思疎通が円滑に行える。そのため、外国人の困りごとなどに寄り沿った支援や情報提供ができ、外国人家庭の孤立を防ぐことができた。		テレビ電話通訳により、円滑なコミュニケーションが可能となり、相談や対応に要する時間の短縮につながった。保健指導などで配布できる資料を作成することで、相談の場だけでなく家庭でも内容を確認することができ、家庭で健康行動に取り組みやすくなった。		南区の子育て支援の特性として外国人家庭への支援を挙げることができる。保護者へ生活や子育ての情報を正しく伝えられることに加えて、保護者が専門職に母国語で相談できる機会があることで安心感が得られ、育児不安の軽減につながることができた。		◎：非常に高い水準で達成 ○：十分な水準で達成 △：達成度が限定的 ×：達成されていない －：評価対象外
③庁内・公民等連携	△	④区の計画への寄与度	○			
個別支援を主とする事業であるため、他団体等との協働は図りにくい。リーフレットや問診票などの翻訳については他区でも活用できるよう共有している。		外国人が子育てしやすい多文化共生社会の実現に寄与することができた。				

4 課題と対応方針及び今後の方向性

課題	今後も外国人家庭は増加することが予測され、言語コミュニケーションの課題がある。	今後の方向性	継続
対応方針	テレビ通訳の継続と子育てや健康に関する資料を多言語に翻訳することでさらに安心して子育てなどができる環境整備をすすめていく。		